

現況のご報告

平成30年度決算 【H30.4.1～H31.3.31】

1. 主要勘定について

(単位:百万円、人)

勘定科目	平成31年3月末	平成30年3月末	増減
預金積金	32,677	31,150	1,527
貸出金	5,379	5,110	269
預け金	13,322	12,016	1,306
有価証券	19,776	18,654	1,122
経常収益(A)	277	280	△ 2
経常費用(B)	178	177	0
経常利益(A-B)	98	102	△ 3
業務純益	100	102	△ 2
当期純利益	70	72	△ 2
組合員数	1,568	1,537	31

(A) 経常収益の内訳

(単位:百万円)

	平成31年3月末	平成30年3月末	増減
資金運用収益	273	276	△ 2
役務取引等収益	1	1	0
その他業務収益	0	0	0
その他経常収益	1	1	0
経常収益	277	280	△ 2

(B) 経常費用の内訳

(単位:百万円)

	平成31年3月末	平成30年3月末	増減
資金調達費用	29	31	△ 1
役務取引等費用	3	3	0
その他業務費用	0	0	0
経費	142	141	1
経常費用	178	177	0

3. 自己資本比率

(単位:百万円、%)

	平成31年3月末	平成30年3月末	増減
自己資本額	2,461	2,399	62
自己資本比率	26.02	26.02	0.00

自己資本比率は、金融機関の健全性や安全性を示す重要な指標として用いられています。
自己資本比率が高いほど安全性が高く、国際基準8%、国内基準4%を遥かに上回っており、
当組合の財務基盤は盤石であります。